

令和3年度 事業計画書

公益財団法人岡田茂吉美術文化財団

□ はじめに

本財団は、創立者 岡田茂吉の思想哲学に基づき、世界的な美術思想の涵養を通じて、人間の品性の向上及び平和愛好思想の醸成を図ることにより、高度の文化的芸術国家の建設に寄与することを目的とし、美術品等の収集・保存・展示・公開、美術に関する調査研究・国際交流、美術教育、芸術家養成、学術・技芸の教授・普及などの日本文化の普及昂揚に関する事業を行う。

本年度は、昨年来の新型コロナウイルス感染症流行禍の中、美術館運営をはじめとする美術教育普及事業が果たすべき社会的な使命役割を踏まえ、インターネットを最大限に活用した国際社会への「日本文化」発信に取り組みつつ、昨年指定を受けた文化庁の「MOA美術館を中核にした『国際観光温泉文化都市』をめざす熱海の文化観光を推進する拠点施設機能強化事業」とも相まって一層の地域連携を図り、地域と共に繁栄するよう、美術館事業やその他美術文化普及事業の一層の拡充に取り組む。

I. 美術館運営事業

1. 企画展の開催

MOA美術館は、年間300日程度開館し、尾形光琳筆国宝「紅白梅図屏風」をはじめ所蔵する日本及び東洋の美術品を中心に、テーマに沿って展示する。

箱根美術館も同様、年間300日程度開館し、日本陶磁器を中心に展示する。

(1) MOA美術館

- ① 伝説の絵師 岩佐又兵衛 三大絵巻展 —山中・浄瑠璃・堀江一挙公開—
令和3年3月12日(金)～4月20日(火)
- ② 粹と艶 —江戸のトップスターたち—
令和3年4月23日(金)～6月8日(火)
- ③ 没後80年 竹内栖鳳 —躍動する生命—
令和3年6月11日(金)～7月27日(月)
- ④ クイズで楽しむ「富嶽三十六景」と「東海道五十三次」
令和3年7月30日(金)～9月7日(月)
- ⑤ #琳派
令和3年9月10日(金)～10月24日(日)
- ⑥ ホモ・ファベール2021
令和3年10月30日(土)～12月12日(日)
- ⑦ 吉田博と川瀬巴水 —木版画の世界紀行—
令和3年12月18日(土)～令和4年1月25日(火)

- ⑧ 名品展
令和4年1月28日（金）～3月21日（月・祝）
- ⑨ 蒔絵展（仮称）
令和4年3月26日（土）～5月9日（月）

(2) 箱根美術館

- ① 日本および中国・朝鮮半島の陶磁の展示
- ② 現代工芸を含めた展示の企画策定と実施

(3) 館外展

- ① 鋸山美術館（千葉県富津市）
令和3年5月22日（土）～6月20日（日）
- ② 掛川二の丸美術館（静岡県掛川市）
令和3年10月16日（土）～11月14日（日）

2. 賛助会員（友の会）の募集・拡大

「友の会」会員に、季刊誌「美の友」頒布（年4回）や「友の会手帳」の頒布等のサービスの充実を進めて、「友の会」会員の増加に努める。

3. その他

(1) 美術品画像データ等の作成、貸出と意匠の許諾など

Ⅱ. 表彰・コンクール事業

1. 第32回MOA美術館児童作品展

子どもたちが日頃取り組んでいる創作活動を奨励し、豊かな情操と美への関心を培う事を目的とした表記の全国展を開催し、表彰と展示を行う。併せて、その前に各地で行なわれる地方展への支援（参加賞の提供など）を行う。

(1) 選考方法

- ① 全国各地において、実行委員会による地方展を開催し、「絵画の部」、「書写の部」の各最優秀作品を決定する。
（平成31年度実績：409会場、応募数439,893点、参加校9,086校）
- ② 地方展で選ばれた各会場最優秀作品は、MOA美術館での全国展審査会において、文部科学省の教科調査官をはじめ美術教師、大学教授、書道協会会員等により文部科学大臣賞などの各賞を決定する。

(2) 賞の種類と点数

① 絵画の部（平成31年度実績）

- a) 文部科学大臣賞 6点
 - b) 外務大臣賞 3点
 - c) 厚生労働大臣賞 1点
 - d) 農林水産大臣賞 1点
 - e) 環境大臣賞 1点
 - f) 日本PTA全国協議会会長賞 1点
 - g) 全国子ども会連合会会長賞 1点
 - h) ボーイスカウト日本連盟理事長賞 1点
 - i) 審査員賞 2点
- 金賞から入選 203点

② 書写の部（平成31年度実績）

- a) 文部科学大臣賞 6点
 - b) 厚生労働大臣賞 1点
 - c) 農林水産大臣賞 1点
 - d) 環境大臣賞 1点
 - e) 日本PTA全国協議会会長賞 1点
 - f) 全国子ども会連合会会長賞 1点
 - g) ボーイスカウト日本連盟理事長賞 1点
 - h) 審査員賞 1点
- 金賞から入選 67点

③ 団体の部（平成31年度実績）

- a) 文部科学大臣賞学校奨励賞 6校
- b) 厚生労働大臣賞 2点

(3) 表彰ならびに展覧会の開催

令和4年1月予定。MOA美術館“能楽堂”において表彰式を行うとともに、MOA美術館“円形ホール”に於いて「MOA美術館全国児童作品展」を開催予定。

(4) 児童作品を通しての国際交流展の開催（日タイ交流展9月予定）

(5) 児童作品展ホームページを作成する。

2. 芸術選奨

(1) 賞の交付

- ① 日本伝統工芸会東日本支部 MOA美術館賞
- ② 日本工芸会 奨励賞
- ③ 伝統工芸陶芸部会展

- ④日本伝統工芸染織展
- ⑤日本伝統漆芸展
- ⑥伝統工芸日本金工展
- ⑦伝統工芸木竹展
- ⑧伝統工芸人形展
- ⑨伝統工芸諸工芸展－七宝・硝子・硯・砥・截金・砂子等－

Ⅲ. 体験活動等の事業

1. 日本文化の体験

MOA美術館茶の庭内の茶室一白庵及び箱根美術館の茶室真和亭で実際に茶庭・茶室・茶道具等に触れて抹茶を点てて喫する茶の湯、いけばな等のワークショップを通して日本文化を体験する事業を行うとともに、茶道文化に接する機会を増やすため当館及び外部での茶会などを開催する。

特に本年は、独立行政法人日本芸術文化振興会が実施する2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の「文化プログラム」の中核的事業である「日本博」の分野別大規模プロジェクトとして、「Kōgei Dining 2021-工芸と食-」を公益社団法人日本工芸会、読売新聞社紡ぐプロジェクトと協力して行う。

(1) 茶会

- ① 光琳乾山忌茶会 未定

(2) 能楽教室 体験・講座と鑑賞 (令和3年8月25日(水))

(3) 日本博 「Kōgei Dining 2021-工芸と食-」

熱海会場：令和3年11月21日(日)～25日(木)

福岡会場：令和4年2月5日(土)

Ⅳ. 主催公演・講座・セミナー事業

1. 主催公演

伝統文化等の普及や情操教育、地方創生を目的とした、能楽堂における演能会や舞踊公演などの伝統芸能および音楽会等、芸術鑑賞会の開催。

(1) 熱海座公演

- ① 坂東玉三郎 舞踊公演

令和3年11月21日(日)、22日(月)、23日(火)、24日(水)、25日(木)

会場：能楽堂

坂東玉三郎(舞)、杵屋勝国(長唄)、田中傳左衛門(鳴物) 他

- ② 熱海座五月演能会

令和3年5月22日(土)

能 観世流「葵上」 観世清和(二十六世観世宗家)

狂言 大蔵流「長光」 善竹十郎

③ 熱海座十一月演能会

令和3年11月27日(土)

能 宝生流「紅葉狩」 宝生和英(宝生流二十世宗家)

狂言 大蔵流「昆布売」 山本泰太郎

④ その他熱海座コンサート予定

令和3年5月 和太鼓野外コンサート

令和3年8月 室内楽コンサート

令和3年9月 びじゅチューンコンサート

令和3年10月 千住真理子ヴァイオリンコンサート

令和3年12月 第九コンサート

(2) 初春の舞

令和4年1月1日(土)

会場：メインロビー

出演：熱海芸妓置屋連合組合

(3) 新春獅子舞(未定)

2. 主催講座

(1) 光輪花クラブ

① 花の美を楽しむ中から情操を養い、生活をより美しくし、豊かな生き方ができることを願いとして、いけばなの講座を実施する。

② 創立者の願いである生活の芸術化を具体化するべく、光輪花クラブにおいて美術品、短歌、茶の湯等の学びを取り入れ、改訂したテキスト、カリキュラムに基づき「美的生活コース」「芸術コースⅠ」「芸術コースⅡ」を推進する。

③ 花サロン

生活の器を工夫していけばなの楽しみ方を提案する6回型の光輪花講習会を開催し、光輪花クラブ入門コースとしての役割を持たせる。

④ キッズ光輪花クラブの本格実施

光輪花クラブの子供用のカリキュラム、制度、テキストを作成し、「キッズ光輪花クラブ」を本格実施する。

⑤ MOA美術文化インストラクターの拡充

光輪花クラブを主催するインストラクターの拡充を図るため、新規インストラクター資格審査、及びインストラクターの資質の向上を図る研修会を定期的に行う。また毎年全インストラクターを対象にした更新研修を行う。

⑥ 光輪花クラブ開講インストラクターへの支援

光輪花クラブを開講するインストラクターへの支援として、規準に基づいた経費補助を行う。

⑦ 光輪花クラブを広報するためのいけばな展の開催、及び各種いけばな展に参加する。また光輪花クラブホームページを作成する。

⑧ 光輪花クラブを中心とする美術文化活動の推進会合を定期的に行う。また、推進チーム員の資質向上を図るための研修会を行う。

(2) イタリア・ボローニャ大学「岡田茂吉・美の講座」の開設

V. 育成事業

青少年の健全な心と体の育成に資するために、美術教育の普及に努める。また美術文化活動の牽引役となる青年人材を育成するための研修を行う。

1. 美術教育

(1) 紅白梅図屏風（複製）をはじめ美術品を通じた美育の推進

- ① 小中学校へ出張授業の推進
- ② 小中学校における図画工作・美術科授業への教材の提供と開発協力
- ③ 静岡県及び内外における美術教師とのネットワーク構築

(2) 日本工芸会と共催した工芸家のアウトリーチ授業の実施

(3) 版画「東海道五十三次」を活用した出張美育セミナーの実施

(4) 美術品の鑑賞手引き

- ① 小中高生を対象とした展覧会ガイド
- ② 教職員対象のセミナーなど

(5) いけばな・茶の湯の体験コースの実施

- ① 幼児および小中高生を対象としたプログラム
- ② 教職員を対象としたプログラム

(6) 中学生や高校生の職場体験学習の受入れ

(7) 美術文化活動の牽引役となる青年人材の育成

青年インストラクターの輩出など、美術文化活動の牽引役となる青年人材を育成するユース研修を実施する。

2. アートボランティア研修

ボランティア育成の場として研修や講演会などの実施

(1) アートボランティアの日

開催日時：令和3年10月頃（MOA美術館 能楽堂）

(2) 新規アートボランティア研修

開催日時：令和3年11月頃（MOA美術館 スタジオ）

VI. 経営基盤の拡充

1. 経営改善

- (1) 顧客満足循環型経営への改善
- (2) 観光客の誘致・誘客の改善強化など
- (3) コスト削減と自立経営に向けた経営改善の遂行
- (4) 寄付金制度（ファンドレイジング）の推進
- (5) ユニークベニユーの推進

2. 入館者増加をめざした取り組み

- (1) 展覧会やイベント、庭園に焦点をあてた広報・営業活動の推進
- (2) 地元住民に開かれた美術館に向けての取り組み
- (3) ホームページやSNS等による広報の充実
- (4) 多様な決済手段への対応による来館者の利便性向上、キャッシュレス化推進
- (5) 海外広報用ビデオの制作
- (6) インバウンド対応力向上等、職員の能力・資質を高める取り組み
（英会話研修の実施、意識づくりのためのワークショップ等）
- (7) デジタル技術を活用した美術品や諸施設の多言語解説の取り組み
- (8) 広域観光圏である箱根と熱海の周遊促進プランの取り組み（各館共通入館券作成等）

3. 施設の貸与事業

伝統文化の普及啓発・ユニークベニユー推進のため、当財団の目的に沿った用途に使用する団体・個人に対して積極的に茶室（一白庵、真和亭）、能楽堂などの施設貸出を行う。

- (1) 光琳茶会（令和4年2月22日・23日）MOA美術館 茶の庭

- (2) 能楽堂貸出

- ① 公益に資する事業への貸出
 - イ) 令和3年4月3日 能楽 梅若流 発表会
 - ロ) 令和3年5月28日～30日 ボーイスカウト全国大会
 - ハ) 令和3年8月4日 静岡県教育研修会
 - ニ) 令和3年10月1日・2日 能楽 山本観衛会
- ② ユニークベニュー推進に伴う貸出
 - イ) 令和3年6月12日 静岡大学教育学部同窓会総会

4. 美術館設備・施設（庭園を含む）改善・改修

(1) 美術館の安全確保に向けた対策

- ① 施設・設備の安全対策、サービス向上に向けての更なる改善・改修
(W i F iの感度向上や死角の除去・茶の庭アプローチの改善 他)
- ② 美術館の防災、防犯の設備強化
(監視システム更新整備・緊急用食料・防寒具等の備蓄 他)
- ③ 危機管理体制の整備・強化
(防災訓練実施、施設巡視・職場巡視の定期実施 他)
- ④ 円形ホール照明・演出等の改善
- ⑤ 箱根美術館本館および切符売場の改修の検討

(2) 美術品保存に伴う展示環境及び展示方法の改善と実施

- ① 展示の研究と実施

(3) 植樹をはじめ、庭園の改善整備

5. 飲食及び物品販売

- (1) MOA美術館飲食コーナーの運営
- (2) ミュージアムショップ（店舗及びオンライン）の運営

以 上